

令和2年度第2回さいたま市保健福祉局指定管理者審査選定委員会 議事概要

1 日 時 令和2年9月25日(金) 9時50分～15時00分

2 会 場 本庁舎地下第1会議室

3 出席者 (委員) 水谷委員長、木下委員、宮本委員、宮崎委員、木村委員、
星野委員、西澤委員
(所管課) 高齢福祉課、生活衛生課
(事務局) 健康増進課

4 欠席者 なし

5 諮問内容と答申結果

指定管理者候補者案について諮問を受け、次のとおり答申した。

(高齢福祉課分)

施設名称	施設数	募集方法	指定期間	指定管理者案
老人福祉センター武蔵浦和 荘	1	公募	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	◎オーエンス・アイルグループ
老人憩いの家ふれあいプラ ザ	5	公募	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	◎公益財団法人さいたま 市文化振興事業団(※1)
宝来グラウンド・ゴルフ場	1	公募	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日	◎さいたまウェルネスス ポーツ JV
高齢者生きがい活動センタ ー	1	公募	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	◎公益社団法人さいたま 市シルバー人材センター

※1 老人憩いの家ふれあいプラザについては、市民局所管施設と一体公募のため、委員会としての点数を市民局に報告することになった。

(生活衛生課分)

施設名称	施設数	募集方法	指定期間	指定管理者案
浦和斎場	1	非公募	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	◎浦和総業株式会社

6 議事要旨

(高齢福祉課分)

①老人福祉センター武蔵浦和荘

【質疑等】

Q サービス向上の取組について、利用者の声を吸い上げて改善していく旨の説明があったが、具体的な事例があれば教えてほしい。

A 利用者から吸い上げた声については、施設内に掲示しており、利用者が使いやすいような施設になるように改善をしている。

Q 新型コロナウイルス感染症対策が必要である一方で、利用率を向上させていかなければならないと説明があったが、各事業のブレーキとアクセルについてどのようにお考えか。

A 当施設の設置目的は高齢者のコミュニティの推進や、ひきこもりを防止することである一方、現在は「ステイホーム」と言われている時世であるため、市とも相談した上で感染拡大状況を見ながら事業を再開していきたいと考えている。

Q 老人クラブとの連携はどうなっているか。

A 資料にも示しているが、老人クラブとの連携については3つ事業を計画している。発表会等を開催し、活動を支援していきたいと考えている。

Q 曜日に応じた入館者数の増減があれば教えて欲しい。また、責任者がいない曜日があるようだが、その場合の緊急時対応についても伺いたい。

A 曜日に応じた人数増減はあまりなく、卓球の日や囲碁将棋の日を決めているため、開催している事業によって来る人が異なっているという傾向はある。また、責任者がいない際のトラブル対応は、当団体が管理している他の施設や本社とすみやかに連絡をとれる体制になっており、そこと連携して対応していきたい。

Q トラブル・苦情の対応事例で印象に残っているものがあれば教えてほしい。

A 当施設では受付時に記名をお願いしているが、少し認知症状が見られる方が「記名をしたくない」と激昂してしまったことがあり、話を1時間近く丁寧に聞いたところ、落ち着いて話をすることができたという事が印象に残っている。

Q 収支計画にある支出部分はその年度によって変動しているようだが、詳細な説明を伺いたい。

A 5年間の収支計画の中で人件費と一般管理費以外については、毎年同額を計上している。人件費については、埼玉県最低賃金が今後増加していくことを想定し、毎年10万円ずつ増加させており、その分一般管理費を落としている。

Q 収支計画の中で文化事業収入が計上されているが、自主事業の中では参加費が無料の事業も散見されている。このことの詳細について教えてほしい。

A 文化事業収入については一部事業で参加費をとっているものもあるため、それを計上している。なおその収入は講師の資料や備品等に充てている。

Q マスクの着用を拒否する利用者がきたことはあるか。またその場合は、どのような対応をとるか。

A 高齢者の方は比較的自分から進んでマスクをつけてくれる傾向があり、今まではマスクの着用を拒否された事例はない。また、マスクについては施設で販売しており、忘れてきた方にはそちらを案内している。仮にしていだけない方が来た場合は、他の利用者もいるので、入口で対応しご理解いただけるように丁寧に説明していきたい。

【結果】

委員一人当たりの持ち点が200点であり、本日委員が7人出席なので、満点は1,400点となる。その60%となる840点を獲得しないと候補者として認められない。

応募のあった団体であるオーエンス・アイルグループの審査を行った結果、1,058点となり、基準となる満点の60%である840点を超えているため、候補者資格を満たしている。

また、応募のあった団体は、現在、当施設を運営している団体であるため、実績評価として、35点の加点を行い、1,093点となった。

以上の結果、提示された指定管理料は市の積算額を下回っており、指定管理業務に係る経費、管理運営体制及び実績など総合的に優れているという評価のため、保健福祉局指定管理者審査選定委員会として、オーエンス・アイルグループを候補者案として選定した。

②老人憩いの家ふれあいプラザ

【質疑等】

Q 民生委員との連携があるとのことだが、具体的にどのようなことをしているのか教えてほしい。

A 民生委員の方には、高齢者の方から「交流施設を教えてほしい」といった相談がよくあるので、その際に本施設を紹介してもらっている。また、施設の利用者で「日常生活で困っていることがある」といった話があった場合には、担当地区の民生委員を紹介するといった連携を図っている。

Q 資料の中で「コンシェルジュサービス」というものがあるようだが、これは特定の資格を持った職員が行うのか、詳細を教えてください。

A 老人憩いの家と併設しているコミュニティ施設の職員で、ボランティアコーディネーターなどの研修を受けたものが、併設施設との一体的な利用をできるような案内を行っている。

Q 利用者アンケートの施設に関する設問について、「良い」との回答が62%とのことであったが、これについてどのように考えているのか聞きたい。

A このアンケートについては、「良い」「ふつう」「悪い」の3択で実施しており、「良い」が62%で残りはすべて「ふつう」であり、「悪い」は一件もなかったことから、利用者からの一定の評価は得られていると考えている。そして、この「良い」の評価を70%、80%と高めていけるよう、目指していきたい。

Q アンケート調査はどのように実施しているのか。

A 施設内にアドバンスボックス（ご意見箱）を設置し、利用者が随時アンケート用紙を投函できるようにしている。

【結果】

当施設は市民局所管施設との一体公募であるため、保健福祉局と市民局の委員会での点数を合算した上で、候補者案を選定する。

委員一人当たりの持ち点が50点であり、本日委員が7人出席なので、満点は350点となる。

応募のあった団体である公益財団法人さいたま市文化振興事業団の審査を行った結果、269点であった。この点数を市民局と合算し、後日指定管理者の候補者案を選定することで、委員長預かりとなった。

③宝来グラウンド・ゴルフ場

【・D 団体への質疑等】

Q 現在よりコストを抑えた収支計画を立てているようだが、その分質が低下しないかという心配がある。また、職員のマルチタスクを実行することであったが、その分職員の負担が大きくなるのではないかと懸念するが、その辺りの考えについて教えてほしい。

A 当団体の構成団体では、宝来グラウンド・ゴルフの近隣にも同様に管理を行っている施設があるため、1つの施設に専任で配置を行うのではなく、各施設と兼任で配置を行うことを実施している。また、各施設からの応援体制等もとっているため、職員の負担については問題ないと考えている。

Q ゴルフ場を大きくして欲しいと利用者の意見があったようだが、その辺りの考えを聞きたい。

A そういった要望があることは把握しているが、指定管理者だけでは決められないので、市の担当課にそのような話があったことを伝えて、協議していきたい。

Q 西楽園が近接していることについて、もう少しPRした方がよいと考えるがいかがか。

A パンフレット等を関係施設に設置し、プロモーションしているが、今後もう少しプロモーションに力を入れていきたいと考えている。

Q 資料にある収支計画書によると、独自事業費に関する支出が事業収入を超えてしまっているようだが、どのように考えているのか、その理由があれば教えてもらいたい。また、現指定管理者であると思うが、現状でもそのような状況があるのかも併せて知りたい。

A 超えている部分は、指定管理候補者となった場合には見直したい。また、今現在については、独自事業に関わる支出が事業収入を超えていることはない。今回の収支計画で支出が収入を超えてしまった部分は、大会の開催にあたりバス送迎を実施することで計上した経費である。大会により多くの方が参加してもらえるとと思うので、収入を含めてもう一度経費の見直しを行いたい。

Q 有料ロッカーを現在も設置しているようだが、現時点での利用率はどのようなのか。

A 具体的に数字を把握はしていないが、利用者の多くの方に利用してもらっている。今後利用者がより増えた際には、増設も検討したい。

【・F 団体への質疑等】

Q 近隣施設である西楽園は別の指定管理者が管理運営を行っているが、貴団体が指定管理を行った場合は事業協力をどのように行っていく予定か。

A 現時点で西楽園とは連携について話はできていないが、今後当団体が指定管理者となった際には、事業協力についてしっかりと協議をしていきたいと考えている。仮に協力が難しい場合であっても、利用者の立場を考え、西楽園を利用してもらえるように案内等を行っていききたいと考えている。

Q 自主事業に対する経費の考え方について詳細を伺いたい。

A 当団体では、日常的に職員とボランティアスタッフで協力しながらイベントを開催している。計画に計上している収入は、より安価で講習会などを開催したいという考えからきている。キッチンカーに来てもらうなどして、収益については更に見直しを行い、より充実した事業にしていきたい。

【結果】

委員一人当たりの持ち点が150点であり、本日委員が7人出席なので、満点は1,050点となる。その60%となる630点を獲得しないと候補者として認められない。

応募のあった2団体の指定管理者候補者の審査を行った結果、さいたまウェルネス

ポーツ J Vが767点、OMIYAスポーツ J Vが780.8点となった。

なお、さいたまウェルネススポーツ J Vは、現在、当施設を運営している団体の1/2以上の構成団体であるため、実績評価として、26.6点の加点を行い、793.6点となった。

2者とも基準となる満点の60%である630点を超過しているため、候補者資格を満たしている。今回は2者のうち最高得点であったさいたまウェルネススポーツ J Vを指定管理者の候補者案として答申することを決定した。

④高齢者生きがい活動センター

【質疑等】

Q 収支計画にある人件費の部分に管理者給与が毎年70万円計上されているが、これについて詳細を教えてください。

A 当団体のセンター長が、施設の管理者を兼任することになっており、施設管理者部分の費用を計上したものとなる。なお、ここでは管理者の人件費は計上していない。

Q 施設では、各イベント等があると思うが、今後の新型コロナウイルス感染症対応が求められる中でどのような方針で進めていくのかの考えを伺いたい。

A 日々状況が変わるのでそれに合わせて慎重に対応を変化していかなければならないと考えており、各イベントについては利用者や地域の方々の声をよく聞いた上で、人数の制限を設けたりするなど、柔軟な対応を行っていきたい。

【結果】

委員一人当たりの持ち点が200点であり、本日委員が7人出席なので、満点は1,400点となる。その60%となる840点を獲得しないと候補者として認められない。

応募のあった団体である公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの審査を行った結果、1,035点となり、基準となる満点の60%である840点を超過しているため、候補者資格を満たしている。

また、応募のあった団体は、現在、当施設を運営している団体であるため、実績評価として、35点の加点を行い、1,070点となった。

以上の結果、提示された指定管理料は市の積算額を下回っており、指定管理業務に係る経費、管理運営体制及び実績など総合的に優れているという評価のため、保健福祉局指定管理者審査選定委員会として、公益社団法人さいたま市シルバー人材センターを候補者案として選定した。

(生活衛生課分)

①浦和斎場

【質疑等】

Q 収支計画に租税公課として、人件費相当分消費税が勘定されているが、本来人件費には消費税はかからないと思うがどうして記載がされているのか。

A 指定管理料には仮受消費税がかかるため、その分を租税公課として計上したものになる。

Q 収支計画の総括表によると令和4年度から人件費が増加し、事業費が減少しているがどういう理由か教えてほしい。

A 現在は斎場の受付業務を専門の業者に委託という形をお願いしているため、事業費に費用が計上されているが、令和4年度以降は、受付事務自体を当団体の職員で実施しようと計画しているためその分の費用を事業費から人件費に移したものとなる。

Q 今後に予定している独自事業等があれば教えてほしい。

A ペット火葬を実施することを計画しており、関係団体と協議を行っているところである。

【結果】

委員一人当たりの持ち点が200点であり、本日委員が7人出席なので、満点は1,400点となる。その60%となる840点を獲得しないと候補者として認められない。

応募のあった団体である浦和総業株式会社の審査を行った結果、1,145点となり、基準となる満点の60%である840点を超えているため、候補者資格を満たしている。

また、応募のあった団体は、現在、当施設を運営している団体であるため、実績評価として、35点の加点を行い、1,180点となった。

以上の結果、提示された指定管理料は市の積算額を下回っており、指定管理業務に係る経費、管理運営体制及び実績など総合的に優れているという評価のため、保健福祉局指定管理者審査選定委員会として、浦和総業株式会社を候補者案として選定した。

以上